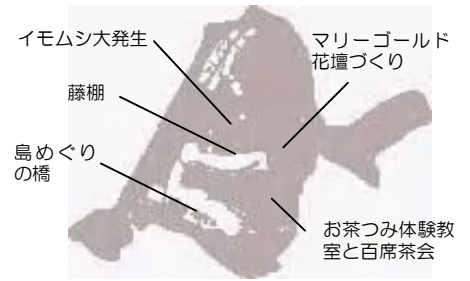


2003年5月号 (キショウブ咲く目洗い池号)

# 古河総合公園だより

発行日：2003年5月30日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市民公社  
住所：〒306-0041 古河市鴻巣399-1 古河総合公園管理棟 E-mail：iwahori@city.koga.ibaraki.jp  
古河総合公園だよりバックナンバー http://www.city.koga.ibaraki.jp/park/dayori/index.htm



5月10日(土)

茶畑・民家園の周囲

## 初夏の定番！お茶つみ体験教室と百席茶会



参加 470 人 (一般参加 260 人、茶席のみ参加 210 人)。



初めての試み「お茶あてコーナー」。緑茶、ほうじ茶、玄米茶などを飲み比べ。

趣向をこらした茶席が登場。炉を組んで、お湯を沸かした演出。



和舟に乗って、御所沼の風景を見ながらの一杯。

### 参加者のご感想

- ・お茶が出来るまで、大変とわかりました (総和・女性)
- ・お茶の種類がこんなにあるとは思わなかったです (市内・小学生)
- ・天ぷら、好き嫌いの多い子供でさえも喜んで食べていました (市内・女性)
- ・葉っぱが少し苦かったけど、おいしかった (市内・小学生)
- ・種類のお茶が、一度目二度目の味が異なるのにはおどろきました (宇都宮・女性)
- ・お茶の飲み方など、初めて知ったことが多かった (市内・女性)
- ・お茶娘になりたいかなぁ (市内・女性)



5月30日(金)

園路入り口

## 今年もありがとう マリーゴールド花壇づくり



今年で三年目。夏の古河総合公園の風景づくりに欠かせない恒例企画。多くの人を楽しませてくれます。  
主催/古河くらしの会

### 2003年度 フリーマーケット開催予定日

2003年	
7月	6日(日)
8月	3日(日)
9月	7日(日)
10月	5日(日)
11月	9日(日)
12月	7日(日)

2004年	
1月	11日(日)
2月	1日(日)
3月	7日(日)

※参加問い合わせ先  
0280-62-2738  
主催/リサイクル友好会

### ◆ 古河総合公園 花ファイル NO.27 ◆

#### ●シラン●

[科名] ラン科

[草丈] 30~50cm

[花] ピンク

[花期] 5月中旬

栽培の難しいラン科の仲間の中では育てやすいラン。

地中にある鱗状の茎は、加工して、白及(ビャクキュウ)と呼ばれる生薬になる。止血、消炎、排膿薬として白及散など各種漢方薬に配合されている。また、白及は、粘液質であるので、糊(のり)としても用いられる。





5月中旬

## イモムシ大発生 その正体は・・・

富士見塚



富士見塚の頂上付近に、大きなイモムシが大発生！「刺されないの？」「駆除して〜」など、多数の来園者の方が、心配顔で、事務所を訪れました。



正体は、サトキマダラヒカゲというチョウの幼虫。ササ類が食草。富士見塚では、今春、オカメザサを刈り込んだため、柔らかで新鮮な葉が、生い茂ったため、大発生したと考えられる。毒は無いので、さわっても大丈夫！・・・ということで、駆除しませんでした。



サトキマダラヒカゲ（成虫）  
成虫の食べ物は、クヌギなどの樹液、くさりかけのくだもの。  
7～8月にかけて、雑木林で、普通に見かけることができる。  
ジャノメチョウ科。

## 公園逍遙吟区・桃まつり俳句大会 選考結果

公園逍遙吟区（応募平成14年5月～平成15年2月）

### 秀作

夕暮れの名残りの坂に蝉しぐれ 松井洋、古河市  
軒深く秋灯くらき民家かな 中村千代子、古河市  
曲り屋の屋根の重たき菜種梅雨  
梅は実にかすかに揺れる自在鍵

（上記2句）阿久津勝利、栃木県宇都宮市

### 佳作

サワサワと木立の風が涼を呼ぶ  
じょんがらの三味の音招く菊祭り  
愛犬が集う広場に春の音

（以上）松井洋、古河市

蒲の穂や神話の兎浮かびくる  
青葙のじつと見ている野点かな  
花びらのような風なりポピー畑  
卵塔の並びてまろし樗落葉  
郭公の来啼く立木や公方塚  
御所沼の波の静かに鳴あそぶ  
山眠る富士も筑波も筑山も  
御所沼の魚静めて春を待つ  
小春日や公方館の丘に立ち  
一服は何時もこの椅子夕薄暑  
久々の空の広さやつばくらめ

（以上）長塚なか、古河市  
中村千代子、古河市  
狐塚長助、古河市

（以上）新井利昭、総和町  
野城島、埼玉県南埼玉郡

川舟の棹のしなりや暮早し（以上）阿久津勝利、栃木県宇都宮市  
探梅や箒目正す文化財 青柳秀夫、埼玉県下都賀郡

（応募総数 71 句）



5月下旬

## 島めぐりしてみませんか

御所沼南側の島々



沼に浮かぶ小島のひとつに橋をかけました。園内で伐採した木や竹を使った、シルバー作業員の手作りの橋です。湿性の植物が楽しめる小さなお散歩コースです。



5月下旬

雪華園の近く

## 来年は見れそう 沼に映る藤の花



冬に作った棚に、順調に、藤のツルがからみはじめました。来年には、沼に垂れる藤の花が楽しめそう。こちらもシルバー作業員の手作り。

桃まつり俳句大会（応募平成15年3月～4月）

### 特選

嫁かぬ娘の白髪一筋桃の花 岩元昭紀、埼玉県春日部市  
車椅子押すも押さるも桃の花 鈴木信行、日立市  
走り根に桃の花散り公方墓所 奥田幸子、古河市

### 佳作

佐保姫のほほ染めにけり古河の里 松野茂、神奈川県川崎市  
春陰の孔雀気嫌を損ねおり 武者美江子、千葉県野田市  
春霞公方の墓の杉木立 稲葉安次、古河市  
笹鳴くや水面に下るくひな坂  
小授鶏の隠れ歩きやお茶畑  
木の芽風帯目すがし公方跡

（以上）中村千代子、古河市  
奥田幸子、古河市

### 奨励賞

もものはなピンクとしろできれいだな 須藤聡美、栃木県岩舟町  
（応募総数 85 句）

次回の選考は、平成16年の2月末日。夏、秋、冬の総合公園の景色を十七文字にたくして下さい。ちびっこのチャレンジ、まっています！

選考協力／古河市俳句協会